

産業競争力強化及び排出削減の実現に向けた需要創出に資する GX製品市場に関する研究会 設置趣旨

2023年11月

経済産業省 産業技術環境局 GX推進企画室

1. 概要

(1) 背景

- 我が国では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、脱炭素成長型経済構造移行推進戦略（GX推進戦略）を令和5年7月に閣議決定した。欧米各国は国家を挙げた脱炭素投資への支援策、新たな市場やルール形成の取組を加速しており、GXに向けた脱炭素戦略の成否が、企業・国家の競争力を左右する時代に突入している。GX実現を通じて我が国企業が世界規模でのカーボンニュートラルの実現に貢献するとともに、GX推進の段階に応じた新たな市場・需要の創出による社会経済構造の転換が重要となってきた。
- こうした新たな市場・需要の創出段階においては、脱炭素投資によって市場に供給された製品・サービス（いわゆるGX製品）が、適切に評価され、選択されることが重要。その際、
 - ① 特に、多排出産業と呼ばれる素材産業を中心とした分野においては、GX製品となる部素材を生み出す新たなサプライチェーンの構築には、大規模な研究開発・設備投資等を必要とする製造プロセスの革新が必要であり、製品のコストアップにつながる。他方、それらGX製品が旧来製品に比べて機能や性状が変わらない場合、いわゆるGX価値を評価し、適切な対価と共に選好する市場がないと、当該産業分野が投資に踏み切れず、GX製品が生み出されにくい、といった相互関係がある。
 - ② 他方で、主に製品・サービスの使用段階におけるエネルギー消費が主な炭素排出となっている分野においては、省エネルギー等製品が、使用段階の排出削減に寄与するものとして一定の市場を形成しつつある。こうした分野では、更なる世界市場獲得と排出削減の両立も進めつつ、サプライチェーン上流における排出削減の成果も適切に反映したGX製品を提供することが、我が国全体でのGX推進において重要だが、こうしたGX価値を一体的に評価する仕組みが必ずしも構築されていない。
- GX推進戦略においては、こうした課題に対応するため、先行投資の支援策と、市場を作るための「規制/制度」とを一体的に講じ、需要と供給の好循環を生み出すための、政策誘導によるGX市場創造の取組が不可欠としている。

(2) 目的及びアウトプット

- これらの背景を踏まえ、本研究会では、GX製品市場の創出に向けて必要となるGX価値の考え方や評価の在り方等を議論した上で、課題とあるべき方向性について整理する。具体的には、産業競争力強化及び排出削減の実現に向けた需要創出に資するGX製

品市場に関する議論をとりまとめ、GX 市場創造に向けた社会変革の方向の予見性を高めることを以て、我が国企業が GX に向けて取り組むことを目的として、議論を行う。

- なお、上記の研究会を進めるにあたり、事務局より、GX リーグ参画企業の WG 等との意見交換を行い、ステークホルダーによる一定の合意形成を得ることを目指す。
あわせて、各産業界からのヒアリングを行うことも検討する。

2. 研究会の運営

- 経済産業省の主催とし、運営の庶務は産業技術環境局 GX 推進企画室が担当する。
- 議事内容及び議事要旨・配付資料は原則公開する。
- 議事要旨は、原則として会議終了後 2 週間以内に作成し、公開する。
- 必要に応じて、通常の委員に加え、専門委員を招聘できる。
- 研究会における議論に加え、必要に応じて事務局において関係者ヒアリングを実施し、その結果を研究会で報告するものとする。

3. スケジュール（案）

- 2023 年 11 月中旬 第一回研究会
 テーマ：「論点と検討の方向性」の提示
- 2023 年 12 月中旬 第二回研究会
 テーマ：委員による発表① 等
- 2024 年 1 月以降 第三回研究会
 テーマ：委員による発表② 等
 「中間整理案」について
- 2023 年 3 月 「中間整理」公表

（以上）